

いいもの成らせるさくらんぼ便り

vol.9 来年へ向けて、野ネズミ対策と雪害対策を万全に!

1 野ネズミ対策

根雪期間が長いと、野ネズミの被害が多くなる
特に被害に遭いやすい苗木・幼木(アオバザクラ台)は万全な対策を!

(1) 園地の清掃

- ・ひこばえは切り取り、草刈りを実施
- ・マルチ、敷きわら等を除去
- ・果実残さを園地に放置しない
- ・資材置き場を整理

(2) 殺そ剤による駆除

① 殺そ剤の使用方法

- ・遅効性殺そ剤を数回に分けて使用 (即効性は警戒されやすい)
- ・耐水性のある小袋入りを使用し、随時補給する

② 巣穴(「生き穴」)に殺そ剤を投入する方法

- ・ネズミが出入りしている「生き穴」に投入

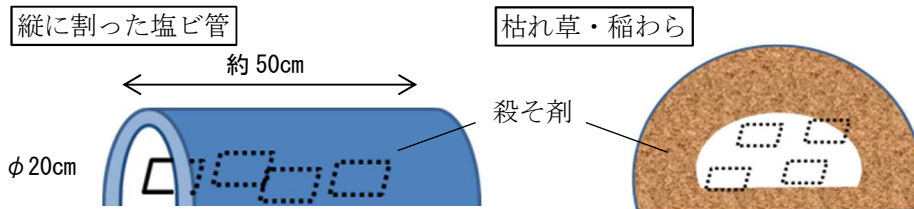


【生き穴】

「生き穴」の特徴
 ・穴がきれい ・入口周りに草がない
 「生き穴」の確認方法
 前日に穴を埋めて翌日開いているもの

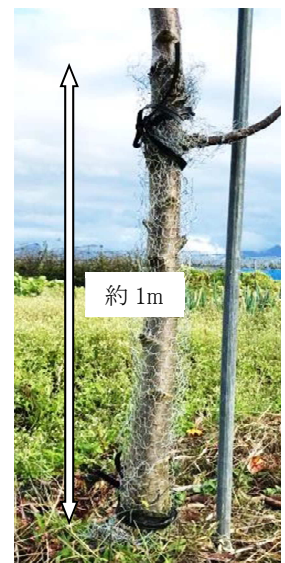
③ 作った餌場に殺そ剤を設置する方法

- ・餌場の資材：縦に割った塩ビ管、枯れ草・稲わら等
- ・餌場の間隔：4個/10a程度



<駆除作業時の注意点>

- ・周辺の農家と協力し、広範囲で実施
- ・作業時は人工的な臭いが付かないよう、手袋を着用



【金網設置の様子】

(3) 樹の保護

- ・地際～地上 1m まで金網で覆う (消雪後に外す)
- ・雪が解けて幹周りに隙間ができたなら踏み固める

裏面に続く

2 雪害対策

昨年は大雪により施設の倒壊、枝折れが多発
降雪前、積雪後の対策により被害を軽減させましょう！

(1) 降雪前の対策

① 樹体被害の回避

- ・ 主枝等の大枝に支柱を設置（まっすぐ立て、外れないように結束）
- ・ 降雪前に、混みあう枝を間引く「粗剪定」を実施
- ・ 苗木や若木は支柱を立て、横枝もまとめて結束する

② 施設被害の回避

- ・ 雨樋の下にパイプが無い場合は、補助支柱を追加し補強



防鳥ネットは外すかまとめる

(2) 積雪後の対策

① 雪下ろしと枝の掘り上げ

- ・ 大雪時は速やかに樹や施設の雪を下ろす

要注意！

樹：大枝や分岐部

施設：雨樋やパイプの交差部

- ・ 埋もれた枝は、雪の沈降前に掘り上げる

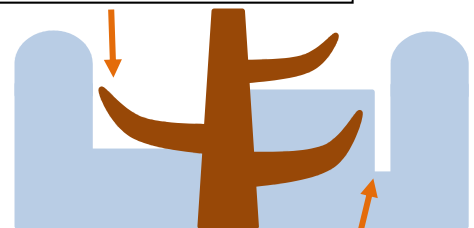


マイカ線を張ったままの施設はこまめに雪を下ろす（着雪防止）

② 融雪剤の散布

- ・ 散布量 40kg/10a程度
- ・ 散布時期
2月下旬以降
多雪年は1月下旬頃から随時
降雪で融雪剤が見えなくなったら再散布

埋もれた枝は掘り上げる



枝の掘り上げが困難な場合は周りに溝を掘り、雪踏みを行う

3 休眠期防除

- ・ 樹脂細菌病の多発園地では、ICボルドー66D 40倍を散布
- ・ コスカシバの発生が見られる園地では、ラビキラー乳剤 200倍を落葉後なるべく早い時期に枝幹に散布

村山総合支庁農業技術普及課 ・ 西村山農業技術普及課 ・ 北村山農業技術普及課
TEL:023-621-8270 TEL:0237-86-8215 TEL:0237-47-8631

山形さくらんぼブランド力強化推進協議会(事務局:農林水産部園芸農業推進課・農業技術環境課)